

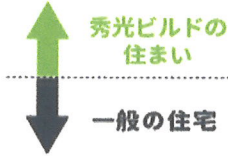
建築物省エネルギー性能表示制度 (BELS:ベルス) とは
 「建築物のエネルギー消費性能の表示に関する指針」 (ガイドライン) に基づき、
 新築・既存の建築物において、第三者評価機関が省エネルギー性能を評価し認定する制度

秀光ビルドの住まいは最高で



認定

一次エネルギー消費性能に応じた★の数で表示



秀光ビルドの
住まい

一般の住宅

★★★★★	$0.8 \leq BEI$
★★★★☆	$0.85 \leq BEI < 0.8$
★★★☆☆	$0.9 \leq BEI < 0.85$
★★★☆☆	$1.0 \leq BEI < 0.9$
★☆☆☆☆	$1.1 \leq BEI$



Copyright © 2013
 2013年7月1日発行
 国土交通省省庁に基づく建設省 (評価機関名)

こんなに変わる光熱費

【実験対象物件】

4LDK / 37.96 坪

家族 4 人

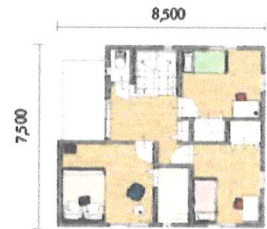
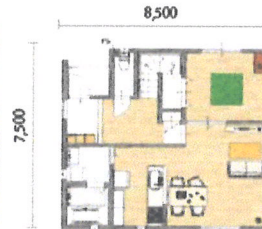
【生活環境】

全居室エアコン設備、給湯設備、換気設備、照明設備 ..etc

【居室面積】

主たる居室面積: 26.25 m² その他居室面積: 45.50 m²

非居室面積: 43.75 m²



一般の住宅
(★★★)



BEI(BELS★)
0.89

月々の電気代
19,364円

秀光ビルドの住宅
(★★★★★)



BEI(BELS★)
0.75

月々の電気代
15,993円

年間の電気代の差額

一般の住宅

220,371円

秀光ビルド
の住宅

年間差額
28,455円

※一般地とは省エネ地域区分5地域 年間日射地域区分A3区分を指しております。

一般の住宅
(★★★)



BEI(BELS★)
0.88

月々の電気代
19,843円

秀光ビルドの住宅
(★★★★★)



BEI(BELS★)
0.80

月々の電気代
19,150円

年間の電気代の差額

一般の住宅

238,124円

秀光ビルド
の住宅

年間差額
8,321円

※寒冷地とは省エネ地域区分3地域 年間日射地域区分A3区分の福島県仕様となっております。



ホーム>ツーバイフォーの性能>耐震性>震災にも耐えたツーバイフォー

ツーバイフォーの性能
Two by Four Quality

震災にも耐えたツーバイフォー

数々の大地震でツーバイフォー住宅は強かった。

多くの住宅が補修しなくても居住可能

■ タイプの異なる地震にも耐えたツーバイフォー

東日本大震災でツーバイフォー住宅は居住に支障なし95%

平成23年(2011年)3月11日午後2時46分、三陸沖を震源とした東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)が起きました。

この地震は我が国、観測史上最大のマグニチュード9.0、震度7で、東北から関東地方にかけての広範囲に、津波と強震による人的・物的被害が多数発生し、震度5を超える余震が続いていました。

当協会では、地震発生後1ヶ月半が経過した4月末に被災地のうち、まず仙台・石巻地域において会員会社がこれまでに供給したツーバイフォー住宅の現地調査を行い、その後、震度6弱以上の地域全域で供給された住宅について被害程度のアンケート調査を行いました。

今回は、地震動に加えて津波による被害があり、また、地盤崩壊による全壊、液状化による半壊、震度6弱を超える余震の影響があり、これまでの大地震と異なる結果でした。

調査対象住宅は20,772戸(平成23年7月28日現在)ですが、そのうち、当面補修をしなくても居住に支障ない住宅は19,640戸で95%にあたります。津波による被害を除けば、当面補修をしなくても居住に支障のない住宅は98%を占めており、阪神淡路大震災や新潟県中越地震でも判明したツーバイフォー住宅の高い耐震性が今回も実証されました。



▲4mの津波に耐えたツーバイフォー住宅
(東北地方太平洋沖地震 石巻市)

■ 報告会の資料はこちらへ

お客様の声

(1)「2x4工法は、地震に強いと言う事で選んだが、その通りの性能で安心できた。」との声が多くありました。

(2)「在来木造と2x4を建築しましたが、2x4は、クロスの亀裂、よじれがなく改めて地震に対しての強さを実感しました。」

(3)「揺れもなく戸もビクともしない。額も落ちない。ご主人がデータを取っているので2x4の説明会等あれば発表したい」との事。

「避難されている親戚の方々も感心されている。」

(茨城県神栖市在住)

(4)「今回の地震でお皿一枚割れることなく、安全に過ごす事が、出来たことをご報告します。1月29日引渡し、2月20日入居でしたのでぎりぎり間に合いました。」

(5)「1階天井裏までの浸水。流れてきた近隣屋根(2軒)が衝突。また、北側近隣の2階建倉庫が倒れ寄りかかる。1階窓建具は、南と西を中心にほとんど流出し瓦礫が室内に侵入堆積した状態であった。津波侵入方向にあった木造住宅の8割ほどが、流出又は全壊状態であったが、本宅は傾き等もなく、修繕することとした。1階の損壊は、ショックであるが、しっかり作ってもらったおかげで家が残ることができた。有難うございます。」との言葉を頂いた。

(岩手県宮古市 2001年2月新築二世帯住宅 施主40代・70代)

新潟県中越地震で全半壊ゼロのツーバイフォー住宅

平成16年(2004年)10月23日午後5時56分、新潟県中越地方を中心に、マグニチュード6.8、震度7の大地震が襲いました。

この地震は本震の後、最大震度5弱以上の余震が15回も短時間に発生したことも、大きな特徴となっています。このため家屋の被害は全壊・半壊が約18,800棟、一部損壊を含めると全部で約9万棟もの住宅が損壊の被害に遭ったといわれます。そして、ここでも当協会の調査によるとツーバイフォー住宅の大きな被害は報告されていません。



▲高町団地内の地盤崩壊(新潟県中越地震)

■ 阪神・淡路大震災にも耐えたツーバイフォー住宅

平成7年(1995年)1月17日午前5時46分、兵庫県南部を襲った阪神・淡路大震災(兵庫県南部地震)。大都市の直下で発生した地震(M7.3、震度7)であったために、想像をはるかに超えた大惨事となってしまいました。

この地震による家屋の被害は、全壊約10万1,000棟、半壊を含めた一部損壊が約28万9,000棟以上(平成7年4月24日の自治省(現・総務省)消防庁発表より)。しかし、このような壊滅的な状況下でさえ、ツーバイフォー住宅に大きな被害はありませんでした。当協会の調査によると、被災地のツーバイフォー住宅のうち96.8%がとくに補修をしなくても継続して居住可能な状態を保ったことがわかっています。

死者の約9割にあたる人が建物の倒壊による犠牲者といわれる阪神・淡路大震災。このデータからも住まいの耐震性がいかに大切であるかわかります。



▲震度7の激震に耐えたツーバイフォー住宅(兵庫県南部地震)

阪神・淡路大震災！ そのときツーバイフォー住宅が家族を守ってくれた

あの阪神・淡路大震災にも全壊・半壊はゼロだったツーバイフォー住宅。当時お住まいの方々から、震災直後に寄せられたお電話やお手紙の抜粋をご紹介します。

[お客様から寄せられた声はこちら](#)

[詳しくはこちらへ▶](#)

■ 釧路沖地震でツーバイフォー住宅は軽微な被害状況

平成5年(1993年)1月15日午後8時6分、発生した釧路沖地震(マグニチュード7.8、震度6)液状化現象による都市インフラの被害や斜面地崩壊による住宅への影響など大きな被害をもたらしました。当協会では地震発生後、現地に有馬孝禮(東京大学助教授(当時))を団長に調査団を派遣し、その年の5月に報告をまとめました。この地域は比較的ツーバイフォー工法が多く採用されている場所でもあります。被害を受けた住宅は造成地などで、地盤の変動や擁壁の崩壊、盛土の滑動による影響によるもので、そのなかでもツーバイフォー工法の場合、上部構造が転倒傾斜したにも拘わらず、倒壊せず6面体の箱として残っていました。

注)地震に強いツーバイフォー住宅でも地震動や地盤変状などによって、壁紙にしわがよったり、少し裂け目が入ったり、基礎の仕上げがはがれたり、家具等の転倒による床材が一部傷つくことはありますので、その被害程度により専門家にご相談ください。

▼震度とガル数の関係

- ・震度0：0.8ガル以下
- ・震度1：0.8～2.5ガル
- ・震度2：2.5～8.0ガル
- ・震度3：8.0～25ガル
- ・震度4：25～80ガル
- ・震度5：80～250ガル
- ・震度6：250～400ガル
- ・震度7：400ガル以上

▼主な地震のガル数

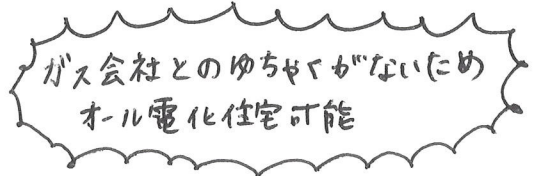
- ・1995年 阪神淡路大震災：891ガル
- ・2004年 新潟中越地震：1,722ガル
- ・2011年 東日本大震災：2,933ガル
- ・2016年 熊本地震：899ガル

★建売住宅ではあまり見られないオール電化対応住宅で施工可能

【オール電化のメリット】

- ①火を使わないから火災発生率が低い
- ②火災発生率が低いため火災保険の割引がある※
- ③電気のみ基本使用料で済むためガスと電気を併用した時よりも基本使用料が節約できる
- ④災害の際にエコキュートのタンクにたまった水を使用することができる
- ⑤災害時オール電化で太陽光発電 蓄電池があればライフラインが途切れても生活することができる
- ⑥あとからオール電化対応すると100万円から200万円かかるが、ケイスタイルハウジングならオプションで45万円対応可能

※オール電化住宅割引の適用がある会社としては、セコム損保、AIG損保、SBI損保があります



③資料

電気・ガス併用住宅の場合

- 都市ガスと電気の併用の場合基本使用料は合計で **1,868円40銭**
- LPガスと電気の併用の場合基本使用料は合計で **2,533円40銭**

オール電化の場合

- オール電化住宅基本使用料は **1,296円** のみ
お湯に関しては、ガスと夜間電力（オール電化）の1kWhあたりの湯沸かしコストを（300リットルのお風呂に、10℃→40℃に暖めた湯を張る場合）比べた場合、
の
毎
● LPガスは **221円**
● 都市ガスは **126円**
● 夜間電力（オール電化）は **127円**

⑤資料

クリックすると進む (Alt+右カギ括弧)、押しにまよするご履歴が表示されます
aig損保のオール電化割引

まず、**aig損保**のオール電化住宅割引をご紹介します。

aig損保とは、旧富士火災のことです。

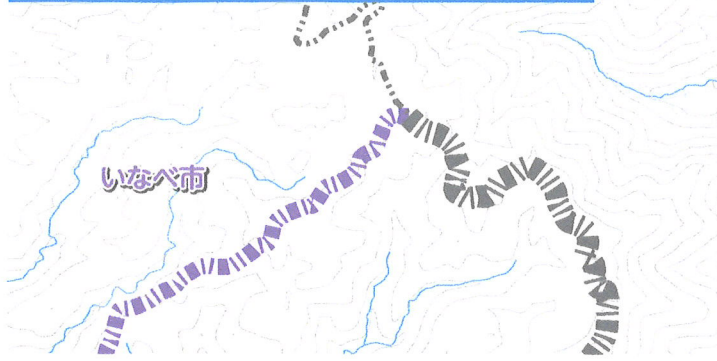
こちらは、「aigのスイートホームプロテクションホームライフ総合保険」のなかに「オール電化住宅割引」のプランが組み込まれています。

この割引を利用すると、最大で**22.5%**も火災保険がお得になるのです。

オール電化割引のなかでは最も割引率が高いので、契約者の負担を軽減できることがメリットのひとつです。

さらに、web申し込みで更に10%安くなるので、火災保険を安く抑えたい人には必見のプランになっています。

洪水ハザードマップ



指定避難所

施設名称	所在地	電話	多目的トイレ
多度中地区 (3箇所)			
50 多度まちづくり拠点施設	多度町多度1-1-1	49-2020	○
51 多度中小学校	多度町小山2060	48-2017	○
52 多度中学校	多度町柚井24	48-2104	○
多度東地区 (1箇所)			
53 多度東小学校	多度町下野代955	48-2322	○
多度西地区 (1箇所)			
54 旧多度西小学校	多度町古野110	—	
多度南地区 (1箇所)			
55 多度青葉小学校	多度町力尾2304-2	48-2213	○
多度北地区 (1箇所)			
56 多度北小学校	多度町香取2202	48-2125	



指定避難所

施設名称	所在地	電話	多目的トイレ
久米地区 (4箇所)			
57 久米まちづくり拠点施設	志知3838-8	31-2234	
58 久米小学校	志知3846-1	31-3761	○
59 正和中学校	坂井339-25	31-2727	○
60 桑名西高等学校	志知2839	31-2521	○
城南地区 (3箇所)			
61 城南まちづくり拠点施設	和泉667	22-0034	
62 城南小学校	和泉269-1	22-1542	○
63 城南河川防災センター	立田町267	23-6869	○
陽だまりの丘地区 (1箇所)			
64 陽だまりの丘複合施設「ぼかぼか」	陽だまりの丘4-2201-2	87-7576	○
大山田地区 (4箇所)			
65 大山田地区市民センター	大山田1-9	31-5811	○
66 大山田北小学校	大山田6-8	31-6839	○
67 光陵中学校	大山田5-12	31-8844	○
68 大山田コミュニティプラザ	大山田1-7-4	32-1820	○
松ノ木地区 (1箇所)			
69 大山田南小学校	松ノ木6-11-1	31-0980	○
野田地区 (1箇所)			
70 大山田西小学校	野田2-8	31-0768	
筒尾地区 (2箇所)			
71 大山田東小学校	筒尾8-11-1	31-6314	○
72 陵成中学校	筒尾8-12	31-6838	○
藤が丘地区 (1箇所)			
73 藤が丘小学校	藤が丘1-10-1	22-7020	○

指定避難所

(75箇所)

施設名称	所在地	電話	多目的トイレ
日進地区 (3箇所)			
1 日進小学校	新屋敷126	22-2428	○
2 陽和中学校	小貝須1408-4	22-2579	○
3 日進まちづくり拠点施設	新屋敷169	25-0919	
精義地区 (4箇所)			
4 精義小学校	寿町3-28	22-0165	
5 ヤマモリ体育館(桑名市体育館)	中央町3-38	22-6741	○
6 NTNシティホール(桑名市民会館)	中央町3-20	22-8511	○
7 精義まちづくり拠点施設	中央町3-49	21-3521	
立教地区 (2箇所)			
8 立教小学校	吉之丸10	22-0883	
9 立教まちづくり拠点施設	内堀7	21-4843	
城東地区 (2箇所)			
10 城東小学校	小貝須1883-2	22-1477	
11 はまぐりプラザ(城東まちづくり拠点施設・漁業交流センター)	赤須賀86-21	22-6010	○

